

みなお通信

高崎市議会議員 高橋美奈雄

<市政相談連絡先>

〒370-0041

高崎市東貝沢町2丁目32-6

TEL&FAX 027-363-2733

E-mail: minao.t@jcom.home.ne.jp

6月市議会定例会報告

令和6年第3回市議会定例会は、6月10日から26日までの17日間の会期で開かれました。

本定例会では、財産の取得について（バリアフリー型トイレレーラー）、財産の取得について（小型バス）、高崎市市税条例の一部改正について、高崎市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について、高崎市水道事業における布設工事監督者の配置及び資格並びに水道技術管理者の資格を定める条例の一部改正について、令和6年度高崎市一般会計補正予算（第2号）などの議案の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

<令和6年度一般会計補正予算を可決>

議案第85号 一般会計補正予算（第2号）では、歳入歳出予算の総額にそれぞれ11億6,309万円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ1,731億5,155万2千円としました。

主な内容としては、労働費の労使会館建設事業に1億1,204万円、衛生費の新型コロナウイルス個別予防接種委託料に7億3,443万円などが計上されました。補正額の財源は、国（県）支出金と地方債、その他の特定財源及び一般財源になります。

教育福祉常任委員会において新型コロナウイルスのワクチン接種について質問しました。自己負担額は1,500円を予定（国が8,300円・市が5,500円負担）しており、他市と比較して自己負担額は低いということです。

また、接種は年に1回、秋冬のインフルエンザワクチンと同時期が見込まれています。



六月定例会

市政に対する一般質問

一般質問は、四日間にわたり二十五人の議員が行い、高橋みなおは二日目に登壇し、質問しました。以下、概要を報告します。

本市における再犯防止の取り組みについて

質問 本県の刑法犯の認知件数が増加傾向にある中で、地方自治体は「地方再犯防止推進計画」を定め、社会復帰支援や再犯防止活動を強化するため、関係機関との連携を密にすることが求められているが、本市としての基本方針は。

答弁 これまで刑事司法の関係機関が中心の考えから国や自治体、民間団体が協力して取り組む基本方針が示された。本市では、令和六年度から五年間として策定した第四次高崎市地域福祉計画に包含する形で位置づけ改めて明記している。

質問 高崎保護区保護司会でも評価されたが、再犯防止の取り組みや社会復帰を支援することは、犯罪発生を抑止にもつながると認識している。安心・安全な社会を築くためにも一層前進させ、計画だけに終わらないためにも更生保護関係団体等と連携して効果的に施策を実施することが重要と考えるが、今

後の取り組みについて伺う。

答弁 保護司などの支援を受けている仮保釈者は再犯率が大幅に低く推移しており、関係者の更生支援活動が効果を発揮していると考えられるので、今後も関係機関や団体等と連携した施策を通じて再犯防止体制の強化を図りたい。

高崎駅を中心としたまちなか回遊性について

質問 群馬県の玄関口でもある高崎駅の改札を出ると観光案内所があるが、時間や人員などどのような体制で対応しているのか。

答弁 高崎観光協会に業務委託をし、年中無休で午前9時から午後7時まで、常時2名体制で観光案内を行っている。

質問 高崎駅からの二次交通手段としては主に何が利用されているのか。また、まちなかの回遊性や移動手段を考えるに当たり、交通事業者と県や市の果たすべき役割や連携についてどのように考えているのか。

答弁 市内循環バスぐるりんや民間の路線バスのほか、たかチャリやお店ぐるりんタクシーなど多様化を図っている。JRやタクシー協議会と協力し、まちなかの回遊性や観光地への誘客を高められるよう研究したい。

質問 観光協会との連携は、本市へ観光客を

誘致するうえで重要な要素になるが、まちなか回遊性を高める取り組みはどのようなことが行われているのか。

答弁 昨年度烏川のとりで初めて「ラ・フエスタ・カラスガワ」を開催した。また、もてなし広場のイベントに飲食や物産を出展し賑わいの創出につなげている。

質問 国の支援としてもまちなかウォーカーブル推進事業を拡充しており、本市においても有効活用していると推察する。駅周辺でのデジタルを活用した交通案内の設備が必要と考えるが見解を。

答弁 SNS配信や駅周辺の大型ビジョンの活用等、デジタルでの情報発信を積極的に活用していく。利用者の利便性や費用対効果を的確に捉え、関係部署と連携しながら研究していきたい。

♪ 後記 ♪

JR高崎駅が七月一日から一か月限定で「ぐんまちゃん駅」になっていることをご存じでしょうか？これは、開業140周年を迎えた高崎駅と活動30周年のぐんまちゃんとのコラボ企画だそうです。これまで議員活動の一環として、高崎駅のバリアフリー化や東西自由通路の経緯について関わらせていただいた私としても、県内はもちろん全国の方に愛され喜んでいただける駅のイベントを楽しみにしています。今年の夏も猛暑が続きますようですが、どうか皆様「自愛くださいませ！」